

2022年12月7日  
イオン琉球株式会社

～もったいないをありがとうに～  
**県内イオン6店舗で「フードドライブ」を実施**  
集まった約2,000点の食品を各市町村社会福祉協議会さまへ寄付

イオン琉球（本社：南風原町、代表取締役社長：鯉淵豊太郎）は、10月の「食品ロス削減月間」に県内イオン6店舗でフードドライブを実施致しました。店舗にお持ちよりいただいた約2,000点の食品を各市町村の社会福祉協議会さまへ贈呈し、子ども食堂など必要とされる場所へと寄付いたします。



上：消費者庁の啓発資材デスクマット  
ポスターをイオン店舗に掲示

左：イオン北谷店サービスカウンターに  
設置した回収BOX

「フードドライブ」は、家庭で余っている食品を捨てることなく、必要とする社会福祉団体等にスーパーを通じて寄付することで食品ロス※1の軽減を図る一つの手段であり、一人一人が生活の中で取り組むことができる活動です。

「食品ロス」の国内排出量は年間522万トン出しており約47%にあたる284万トン※2が家庭で発生していることを受け、お客さまに改めて食品ロスを意識していただくことを目指して食品ロス削減月間である10月に実施いたしました。

期間中、県内イオン6店舗にてご家庭で余っている食品を店舗サービスカウンターに持ち寄っていただき回収された食品は、社会福祉協議会さまへ贈呈し、生活困窮者や子ども食堂など物価上昇等で食品を必要とされる場所へと寄付していただきます。

今後もイオン琉球は地球環境を守る取り組みと地域の発展を願い、食品ロス削減だけでなく、子ども支援につながるSDGsの取り組みを推進してまいります。

**【フードドライブ 実施概要】**

- 実施期間 : 2022年10月1日（土）～10月31日（月）
- 実施店舗 : 県内イオン6店舗（那覇・南風原・北谷・具志川・ライカム・名護）
- 実施内容 : 期間中、家庭から持ち寄られた食品を各店サービスカウンターにて回収し、各市町村社会福祉協議会さまに贈呈します。
- 回収対象 : 未開封で賞味期限が1ヶ月以上ある食品で常温保存のもの  
製造者または販売者表示、成分、アレルギー表示のあるもの
- 回収点数 : 全6店舗で合計2,363点

※1 食品ロスには食べ残し、皮の剥ぎすぎなどの過剰除去及び手つかずの家庭系食品ロスのほか食品関連事業者から出される規格外品及び売れ残りなどの事業系食品ロスがある。

※2 環境省及び農林水産省 我が国の食品廃棄物等・食品ロスの量の推計値（2020年度）より

【ご参考】

イオン各店舗より各市町村の社会福祉協議会さまへ贈呈の様子



イオン那覇店より那覇社会福祉協議会さまへ贈呈



イオン南風原店より南風原社会福祉協議会さまへ贈呈



イオンスタイルライカムより  
北中城社会福祉協議会さまへ贈呈



イオン名護店より名護社会福祉協議会さまへ贈呈

**イオン琉球のSDGs（持続可能な開発目標）取り組みについて**

食品ロスは世界でも大きな問題ですが、日本国内でも相当量の食品ロスが生まれています。この問題は餓飢ゼロを掲げる持続可能な開発目標（SDGs）の目標2の達成においても日本、そして世界が一丸となって解決すべき課題となっています。当社においても沖縄県が推進するSDGsの普及啓発において、一定の基準を満たした上で目標達成へ向けた取り組みを行っている企業・団体への「おきなわSDGsパートナー」登録制度において、2020年10月26日（月）に認定を受けており、食品ロス削減だけでなく、子どもの貧困問題等小売業としてできるSDGsの取り組みを推進しております。

〈フードドライブの取り組みにおいて目指すゴール〉

